

## 自分の考えを深め、自己の生き方について考える道徳の授業

横浜市立鴨志田緑小学校 教諭 武井 三也

### 小学校6年 道徳 ココロ部！

#### 番組の特徴

『ココロ部！』は、主人公が番組内で葛藤場面に出会い、「君ならどうする？」という問いで番組が終わる。そんな時どうすればよいか、じっくり話合うことで、自分の生き方について考えていく番組である。

#### 研究の概要

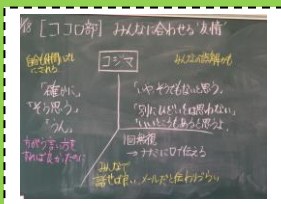
番組視聴の中で出てくる道徳的葛藤場面について、自分の立場を明らかにし、「自分ならどうするか。」を考え、話し合いをすることで、日常の自分の行動について振り返るようにした。葛藤場面や対立する2つの立場を把握しやすいことから、全員が授業に主体的に参加することができた。自分の意見をしっかりと話し合うことで、自分の行動や日常生活について考える姿が見られるようになった。

#### 授業デザイン（1 単位授業時間）

主題名：本当の友達・友情とは

ねらい：メールの特性や注意点に気付くとともに、本当の友達とは何か考えることができる。

導入	番組名とタイトルを確認する。
番組視聴	「みんなに合わせる‘友情’」（前半）
全体交流	コジマの立場ならどうするかを考える。
番組視聴	「みんなに合わせる‘友情’」（後半）
感想交流	番組全体を視聴しての感想を書く。
児童の感想	いけないと分かっているけど…。みんなに合わせるのが友情なのかな？
グループ話し合い	「本当の友達ってなんだだろう？」についてグループごとに考えを出し合う。
まとめ	自分の普段の「友達」とのかかわりについてふりかえる。



#### 番組や関連動画クリップの活用意図

##### 葛藤場面を理解しやすい番組

自分の考えを深めるためには、まず自分の考えをもち、話し合いに主体的に参加することが必要である。番組内で葛藤場面の2つの立場について内容を振り返りながら整理（音声・映像等）されているので、課題把握の個人差が極めて少ない。

##### 考えをもつことで、自然と話し合いが始まる

自分の考えを書いているうちに、自分の立場が明確になり、自然とグループの話し合いが生まれる。そうすることで、多様な考えに触れることができ、自分の考えを深められる。

#### 思考の可視化にかかわる教師の工夫

##### 板書で子どもの考えをYチャートに記入

- 対立する問題を構造的に見やすく書いた。
  - 自分の考えと他の考えを比較しやすくなった。
- ⇒子ども自身が考えを表明しやすくなった。

##### 自分の考えを記入しやすいワークシート

自分の考えを書きやすいように、大きめの枠を設定し、自由にかけるようにした。

##### グループの話し合いをホワイトボードに

グループごとに話し合ったことをホワイトボードに記入し、全体化の場面では黒板に貼って、より多くの考えに触れられるようにした。より多くの考えに触れることで、自分の考えを深めたり、自分の普段の生活を振り返ったりできた。

#### 生き生きと学ぶ子どもの姿

##### 子どもの自己評価から）

- もしかしら、自分の言ったことで友達を傷つけているかもしれないから、気を付けたい。
- 本音を言うこと、断れる人が本当の友達だと思う。

##### 評価シートから

実践前後で有意差が見られた項目は以下の通りである。

- 自分自身の気持ちにあてはめて考えることができた。
- 「本当によいことなのかな？」と考えることができた。

##### 同僚の評価

- 番組で示される立場が明確で、子どもにとって考えやすい。
- 葛藤場面が子どもにとって理解しやすい。

#### 実践を終えて

番組視聴の授業では、子どもの状況理解・場面把握についての個人差がなく、その後の話し合い活動が活発になった。また、自分の立場を明確に示せることで、自信をもって話し合い活動に参加する子どもが増え、自分の考えを深める姿が見られた。番組内で示される葛藤場面が現実になかたり、具体的だったりすることから、子ども自身が日常生活や行動を振り返ることができた。今後は、多面的・多角的に考える力を育めるよう研究を推進する。